

臨床研究「ブルガダ症候群を含む特発性心室細動の長期予後調査とリスク評価」について

筑波大学附属病院循環器内科では、標題の臨床研究を実施しております。
本研究の概要は以下のとおりです。

1 研究の目的

ブルガダ症候群を含む特発性心室細動の臨床的特徴、リスク評価法、治療成績、長期予後を明らかにすること

2 研究対象者

当院でブルガダ症候群、特発性心室細動と診断された患者様

3 研究期間：倫理審査委員会承認後～2028年3月31日まで

4 研究の方法

日本の各施設からブルガダ症候群を含む特発性心室細動の既往がある20歳以上80歳以下の症例を登録し、年に一度のアンケートによってイベントの有無に関する調査を行う。

5 試料・情報の項目（具体的に記載すること）

診断名、年齢、性別、臨床所見、検査所見（血液検査、画像検査、心電図検査、カテーテル検査結果等）、治療内容、不整脈イベント発生回数など

6 試料・情報の第三者への提供について（該当する場合は記載）

情報を症例報告書に記載する時点で、氏名や生年月日等の情報を削除し、研究独自の識別コード（研究用ID）を付与して研究IDリストを用いて管理します。情報はemailでデータセンター（関西医科大学総合医療センター、データ保管責任者：不整脈治療センター 高木雅彦）に送ります。提供する情報には氏名・生年月日・診療ID等は含まれません。研究IDリストはデータセンターに提供しません。また、将来、本研究以外で関連性のある研究のために二次利用する可能性や、本研究の共同研究機関以外の研究機関に提供する可能性があります。

7 試料・情報の管理について責任を有する者

関西医科大学総合医療センター、不整脈治療センター、高木雅彦

8 研究機関名および研究責任者名

本研究は特発性心室細動研究会が行う研究であり、研究組織は当院を含む全国72機関です（ホームページ <http://j-ivfs.org/>）。代表研究機関は当院、共同研究機関は下記の5機関です。

代表機関名および研究責任者：

筑波大学附属病院、循環器内科 病院講師 小松雄樹

共同研究機関と各機関の研究責任者：

関西医科大学総合医療センター、不整脈治療センター、高木雅彦

河野臨牀医学研究所附属第三北品川病院、内科、横山泰廣

国際医療福祉大学成田病院、循環器内科、相澤義泰

大分大学医学部附属病院、循環器内科、篠原徹二

国立循環器病研究センター、心臓血管内科部門不整脈科、鎌倉令

9 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

10 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：循環器内科 担当：小松雄樹

電話：029-853-3143(平日 9-17時)

Fax：029-853-3227

E-mail：yuki.komatsu@md.tsukuba.ac.jp